

福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:8/8)

(単位：Bq/cm³)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
2号機サブドレン	平成26年3月7日	N.D. [4.2 × 10 ⁻⁷]	N.D. [4.6 × 10 ⁻⁷]
福島第一深井戸	平成26年3月分 採取中止 1	-	-

[]内は検出限界値を示す

1 採取装置取替のため未採取

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+Pu-240は検出されなかった。

以 上

サブドレン核種分析結果<2/2>

(データ集約：8/8)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 深井戸
試料採取日	平成26年3月7日	平成26年3月分 採取中止 1
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	ND	-
Cs-134 (約2年)	9.9E-02	-
Cs-137 (約30年)	2.9E-01	-
H-3 (約12年)	1.9E-01	-
全	ND	-
全	9.5E-01	-
Sr-89 (約51日)	ND	-
Sr-90 (約29年)	2.5E-01	-

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，平成26年3月8日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm³，全 が約2E-3Bq/cm³，Sr-89が約3E-4Bq/cm³。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

1 採取装置取替のため未採取

(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。